事業番号	131

平成27年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	地区組織活動事業							担当部	健康福祉部	
	会計区分	一般会計		事業類型	実施計画事業				担当課	保健センター	
	事業期間	平成12年度以前	～	平成31年度以降					担当係	母子保健係・成人保健係	
	総合計画分野別計画 主目的	2 保健・福祉	6 健康づくり	1 心と体の健康づくりへの取組みを支援します							
	総合計画分野別計画 副目的								実施計画対象	○	
	予算区分	款	4	項	1	目	4	大	3	中	3
	根拠法令・個別計画	健康こまきいきいきプラン									
	目的（対象をどの様な状態にするのか）	子どもから大人までの地域住民の健康保持・増進のため、地域での健康意識を高め、お互いに育み合えるようにすると共に、気軽に健康づくりができるようにする。									
	内容（手段）	◆26 年度実施内容 保健連絡員を中心としたボランティア活動により、地域の状況に応じた健康づくりを支援した。 保健連絡員活動（地区健康展、ミニ健康展、がん死亡撲滅モデル地区活動、学習会、グループ会議、総会、活動発表会、赤ちゃん訪問等）をした。 食生活改善推進員活動（定例会、総会等）をした。 地域ボランティア活動（つつじ会、ささの会、そよかぜ、牧連体操クラブを始めとするボランティアの定例会等）をした 。 保健センターではボランティアが自身の成長ややりがいを得ることが出来るように活動を支援した。 ◆H26年度直接経費の内訳 ボランティア活動謝礼 2,627千円 ボランティア活動保険料 78千円 地区健康展等支援事業委託料 1,816千円 消耗品等 1,616千円 ○27年度実施内容 各活動とも、25年度同様実施する。 保健連絡員活動が始まって30周年を記念し、保健連絡員、OB、地域関係者が交流する保健連絡員活動30周年記念事業を実施する。 ◆H25年度直接経費の内訳 ボランティア活動謝礼 3,112千円 ボランティア活動保険料 115千円 地区健康展委託料 2,800千円 消耗品、印刷等 4,886千円									
	受益者負担	無									

				単位	H24決算額	H25決算額	H26決算額	H27予算額
コスト	費用	直接経費		千円	4,584	6,305	6,137	10,913
		正職員	従事者数	人	0.80	0.80	1.80	2.00
			人件費	千円	4,208	4,208	9,468	10,520
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計		千円	8,792	10,513	15,605	21,433
		対前年比		%		119.5	148.4	137.3
	財源	一般財源		千円	7,613	9,480	14,572	20,400
		国・県支出金		千円	1,179	613	613	613
		その他財源		千円	0	420	420	420

事業番号	131

業績

活動指標名	単位		H24	H25	H26	H27
保健連絡員登録者数	人	目標	247	248	248	248
		実績	247	248	246	
赤ちゃん訪問実施の保健連絡員とOB数	人	目標	330	330	330	330
		実績	313	336	316	
		目標				
		実績				

成果指標名	単位		H24	H25	H26	H27
地区健康展及びミニ健康展参加者数	人	目標	1,060	1,300	2,000	2,000
		実績	1,267	1,853	2,059	
赤ちゃん訪問数実施率	%	目標	80%以上	80%以上	80%以上	80%以上
		実績	83.0	85.0	83.5	

事業の自己評価

平成26年度の実施結果	事業の達成状況	保健連絡員活動として学習し、学習したことを地域に広めたりした。 保健連絡員が赤ちゃんの生まれた家庭に訪問したり、赤ちゃんサロンを実施した。 小牧南、小牧、巾下、味岡、東部桃花台・篠岡、北里の6地域において、公民館・市民センター等において保健連絡員主体による地区健康展を実施した。 地区健康展や農業祭等において、食生活推進員や保健連絡員OBが活動し、健康に関する普及啓発を行った。
	事業実施における課題	保健連絡員の任期が3年であるが、地域の事情によって1年のところもある。1年間であると、なかなか、区の健康事情を把握するまでいかず、ボランティアとして活動するのが難しい現状もある。 OB活動については、活動グループの高齢化がみられる。
	事業を縮小・廃止したときの影響	自分たちの健康は自分たちで守る。また、お互いを見守り支えあう自助・共助・互助の考えで、健康づくりを考えるため、現在のボランティア活動は必要である。 行政ではできない地域のサービスがなくなる可能性がある。
平成27年度の改善内容	27年度における事業の改善・見直し内容（新規追加事項、廃止・削減事項等）	保健連絡員30周年記念事業を実施する。この中で健康づくりのあゆみを発表したり、連絡員同士交流を持つことにより、活動の励みとなる。 地域に必要な活動について、区長と連絡をとり、地域に有効な健康情報発信や活動ができるように地区会議や学習会を引き続き実施する。
平成28年度の事業の方向性	方向性の判定	維　持　／　事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの（対象や手段を見直す場合も含む）
	判定理由	保健連絡員はじめ各ボランティア団体が市民または地区民の健康づくりや介護予防、子育て支援等に積極的に係わっている。また、保健連絡員を終了しても、何か健康な地域づくりに役立ちたいという方もみえる。この活動が引き続きできるようにしていく。
	28年度以降の改善案	保健連絡員はじめ、他の健康づくりボランティアの養成や活動の有り方について、検討していく。

二次評価

方向性の判定	判　定　理　由
維　持	一次評価のとおり。